

丹波篠山市未来へつなぐ丹波の森づくり条例（案）

かつて、私たちの丹波地域に開発の波が押し寄せようとしていました。経済の発展こそが豊かさであるという時代の大きな流れの中で、私たちはあえてその潮流に立ち止まり、目先の開発よりも、先人から受け継いだ自然や歴史、文化の中にこそ、未来へつなぐべき本質的な豊かさがあると信じました。そして、画一的な都市化を追うのではなく、森に象徴される豊かな自然や文化を大切にした地域づくりを進めようという信念を込め、掲げられたのが次の「丹波の森宣言」です。

- 宣言 1 丹波の健全な発展をそこなうような自然破壊は行わず、森を大切に守り育てます。
- 宣言 2 丹波の自然景観を大切にし、花と緑の美しい地域づくりを進めます。
- 宣言 3 丹波の文化景観及び歴史的遺産を大切にし、個性豊かな地域文化を育てます。
- 宣言 4 丹波の素朴さと人情を大切にし、安らぎと活力に満ちた地域づくりを進めます。

これまで丹波篠山市は、この宣言をまちづくりの原点として、大切に、そして着実に歩みを進めてきました。その結果、美しいまちなみや豊かな自然、文化、そして特産物に恵まれた、多くの人々を惹きつける魅力ある地となっています。

「丹波の森宣言」は、私たちが常に立ち返るべき出発点であると同時に、未来に向けて一体となって目指すべき至高の目標でもあります。

私たちは、この宣言をこれからも変わらない心の拠り所としながら、丹波地域に息づく「森の資本」を活かし、新たな価値や喜びを創り出すことで、持続可能な地域社会を築き上げていきます。この美しく、かけがえのない丹波篠山市という農村を、誇りを持って次の世代へつないでいくため、ここに本条例を制定します。

第 1 章 総則

（目的）

第 1 条 この条例は、前文に掲げる「丹波の森宣言」の理念を、市民、事業者はもとより、本市を訪れる人々や移住を志す人々など、丹波篠山に心寄せる全ての人々が共有し、自ら丹波の森づくりに関わり、ともに歩みを進めていくことを目的とします。

(基本理念)

第2条 丹波の森づくりは、次に掲げる事項を基本理念として推進するものとします。

- (1) 先人から受け継いだ自然や歴史、文化、そして地域のつながりを大切に守りながら、今の時代を生きる私たちの知恵を重ね、暮らしの喜びを生み出すこと。
- (2) 人間中心の都合だけで考えるのではなく、あらゆる命が共に生きる世界の一員であることを自覚し、他の生物の営みにも心を寄せる、調和のとれた地域をつくること。
- (3) 森の資本を活かすなかで、多様な人々との出会いを育み、そこで見つけた新しい価値や活気が、ふたたび地域の守り手となる「健やかな循環」を育てていくこと。
- (4) まちづくりの基本は「人」であることを大切にし、世代や地域を越えて共に学び合い、それぞれの成長や新しい挑戦を喜び、応援し合う風土をつくること。

(市民の役割)

第3条 市民は、丹波の森づくりの主役であることを自覚し、次に掲げる事項に取り組むよう努めるものとします。

- (1) 日々の暮らしの中で花や緑、里山、水辺などの自然を慈しみ、自らの手で美しい景観と健やかな環境を守り育てること。
- (2) 郷土の歴史、文化、恐竜化石などの豊かな資源を学び、楽しみながら新たな価値を共に創り出す活動に参画すること。
- (3) 丹波篠山への誇りを持ち、地域の魅力を語り継ぐとともに、丹波の森づくりに関わる人々と互いに応援し合うこと。

(事業者の役割)

第4条 市内外の事業者は、丹波の森づくりの理念を深く理解し、その事業活動が豊かな自然環境や美しい景観を損なうことのないよう、最大限の配慮をしなければなりません。

- 2 事業者は、地域の歴史、文化、及び風土を尊重し、地域社会の一員として、丹波の森づくりの持続的な発展に寄与するよう努めるものとします。
- 3 事業者は、自らの事業活動を通じて丹波の森の資産を創造的に利活用し、新たな価値の創出や地域経済の活性化に主体的に取り組むよう努めるものとします。

(関係人口の役割)

第5条 丹波篠山市に心を寄せる人々は、丹波の森を共に育むパートナーとして、次に掲げる事項に努めるものとします。

- (1) 丹波の自然、歴史、文化を深く尊び、その価値を次世代へつなぐための活動に自らも参画すること。
- (2) 地域の知恵と自らの知恵を響かせ合い、この土地ならではの新たな喜びや活気を共に創り出すこと。
- (3) 丹波篠山市との関わりを深め、又は滞在を重ねるにあたっては、地域の習慣を尊重しつつ、自らの知恵や個性を活かして、地域をともに盛り立てていく仲間として活動すること。

(行政の役割)

第6条 市は、丹波の森づくりの実現に向けて、関連する取り組みを推進するものとします。

- 2 市は、丹波の森づくりの理念への共鳴を広げ、市民、事業者、及び関係人口による主体的な参画と創造的な活動が連鎖していくよう、普及啓発に努めるものとします。